

# リハビリテーション介護技術

---

公立長生病院リハビリテーション科

高橋 豊

## II リハビリテーション介護技術

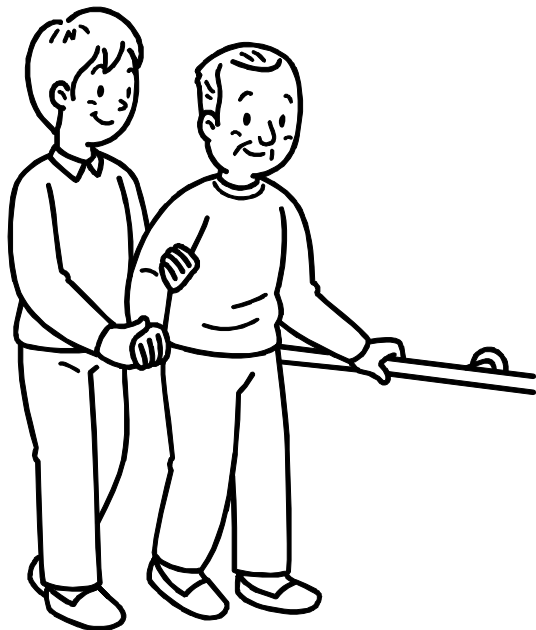
---

1. リハビリテーション介護技術とは
2. リハビリテーション介護の5つのポイント
  - 1) **安全**への配慮
  - 2) **できないところ**だけ介助する
  - 3) **相手の動き**に合わせる
  - 4) 介助動作の全体を**イメージ**してから行う
  - 5) **福祉用具**の上手な利用

# 1. リハビリテーション介護技術とは

- ✳️ リハビリテーションとはRe（再び）habilis（適した・ふさわしい）ation（すること）。つまり、**その人らしい新しい生き方を一緒に創っていくこと（新しい人生を創る）。**
- ✳️ 介護とは病人や老人に付き添い、**世話や介護**をすること。
- ✳️ リハビリテーション介護技術とは、単に世話や介護をするのではなく、**その人らしい生き方を考え介護**することがリハビリテーション介護です。

## 2-1) . 安全への配慮



- ✦ 付き添うときは、介護者は相手の弱い方（麻痺側、骨折側）にいきましょう。
- ✦ 介助する時は、相手が動く方向に自分がいきましょう。
- ✦ 安全に行うことが大切なので、1人で無理をしないようにしましょう。

## 2-2) . **できないところ**だけ介助する



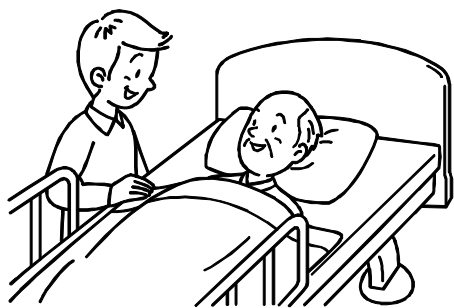
✦ **すべては相手を知ることから始まります。まず、何ができて、何ができないかを観察しましょう。**

✦ **できることを手伝ってしまおうと、いつかできなくなってしまうし、相手の自立心をも低下させてしまいます。**

**できること→どんどんやらせてもらい誉めましょう。**

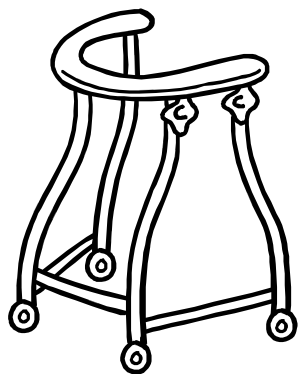
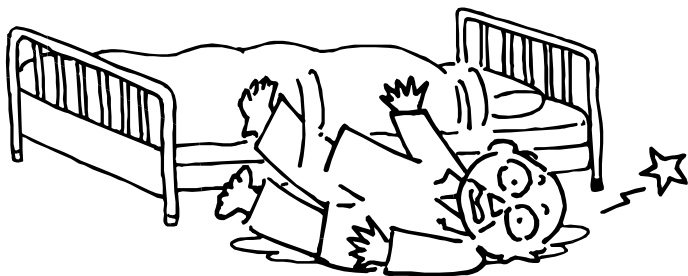
**できないこと→どうすればできるようになるか考えましょう。**

## 2-3) . 相手の動きに**合わせる**



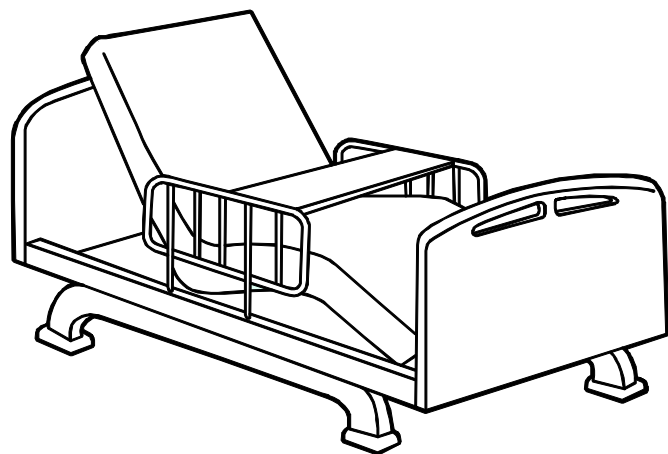
- ✿ まず、これから何をするのか理解してもらいましょう。
- ✿ 私達が相手を見ているのと同じように、相手も私達を見ています。いつも笑顔でリラックスした姿勢で接しましょう。
- ✿ 高齢者の方は呼びかけてから動き出すまで時間がかかります、反応ができるまで待ちましょう。

## 2-4) . 介助動作の全体をイメージしてから行う



- ✦ 相手の動く軌道に介護者がいると相手のスムーズな動きを妨げてしまいます。相手がどのような軌道で動くかイメージしてから介助しましょう。
- ✦ 例えば、立ち上がった時移乗する車椅子が介護者の手の届かないところにあれば危険です。介助動作の全体をイメージしてから介助しましょう。

## 2-5) . 福祉用具の上手な利用



✳ リハビリテーション介護にはマンパワーだけでなく、福祉用具を上手に使うという考え方もあります。相手の能力に合わせた福祉用具を利用しましょう。

